

理念

将来像（めざすべき東播磨の姿）

将来像を実現するための取組の方向性

方向性

取組

水辺とものづくりのまちでつながり、ワクワクする未来

営みの源となる水辺と活力を生み出すものづくりの東播磨で、まちや歴史、自然、産業と、人とのつながりを深め、心躍る新たな未来を創り出す

1. 自律・快適 東播磨

誰もが自律し、健康で快適な生活を送る

2. 安心・活力 東播磨

防犯・防災の基盤が整い、力強い産業が活力を生み出す

3. 環境・交流 東播磨

自然環境の営みを大切にし、地域内外の交流が広がる

1. 軽やかに動き、いきいきと暮らす

自動運転、デマンド交通など新たな交通機関の充実やデジタル化の進展により、地域を軽やかに移動する暮らし方、住まい方が広がる。犯罪や災害から暮らしを守る安全安心の基盤が整うとともに、医療体制の進展とスポーツの活性化により暮らすだけで健康長寿になる

2. ひとを育み、生きがいを実感できる

地域ぐるみで安心して子どもを産み、育てやすい環境が整い、自律して挑戦する若者が育つ。ライフステージに応じた生き方、働き方、学び方の選択肢が広がり、自分の大切にしている価値を追求しながら人生100年時代を謳歌する

3. 伝統と文化が息づき、交流が広がる

暮らしの中に息づく祭りなどの伝統文化、豊かな歴史を守り、引き継ぐことで地域の魅力が高まり、暮らしやすい環境や多彩なツーリズムが移住者や二地域居住者、観光客などを国内外から引き寄せる

4. 人・もの・情報がつながり、元気にぎわう

テクノロジーの進化と道路ネットワークの充実による人・もの・情報の多様なつながりを基盤に、多くのスタートアップやコミュニティビジネス、シェアリングサービスが生まれ、最先端のものづくり技術がグローバルな事業展開を牽引して、まちににぎわいと活気があふれる

5. 自然を生かし、資源が循環する

里山、ため池、川辺、海浜が広がる豊かな自然と暮らしが共存し、農水産物の地産地消や再生可能エネルギー、CO₂フリー水素の域内自給が成立して、資源の好循環を生み出している

課題①

- ・災害に遭っても素早く日常を取り戻すことができる地域を目指す
- ・広域での避難所、支援体制の必要性
- ・自転車でどこにでも行ける東播磨の特性を活かす
- ・暮らすだけで健康になれるまちを目指す
- ・川を活用するなど地域住民が関われるスポーツの普及を目指す

- ・子育てや福祉など個々で問題を抱えるより地域で解決できるようなネットワークづくり
- ・多文化共生
- ・世界で活躍する人材づくり

- ・同じテーマを持つ人などをつなぐ人材を育てる
- ・祭りなどの多世代の交流により、地域の愛着、地域の誇りが醸成。また、他地域の人、外国人なども参加しやすくする
- ・地域の人々が地域の魅力を磨き、高めることにより外からの人を呼ぶ
- ・地元が主体の関わり（自治会、子ども会など）が減ってきているので、だれもが関われるような地域の魅力づくりが必要
- ・デュアルスクールの推進

- ・企業と地域のつながりに相互作用が起こり、イノベーション産業が生まれるような取組
- ・幼少時からのものづくり教育の推進
- ・既存のものづくりだけでなく、新しい企業などを育てる
- ・空き家や古民家は、テレワークに移行しても必要とされるオフィスなどに活用
- ・地域の課題解決に向けたコミュニティビジネスの発展

- ・エネルギーや食糧が地産地消できるまちを目指す
- ・水素を含めた脱炭素などの取組や水素発電による環境学習の推進
- ・海上ファームなど新しい食糧生産の方法を利用
- ・里山・川・ため池・海のつながりを確保し、循環する自然の実現